



平成 29 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 日 本 証 券 金 融 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 英 三
(コード番号 8 5 1 1 東証第 1 部)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 杉 山 慎 一
(TEL. 0 3 - 3 6 6 6 - 3 1 8 4)

剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 11 月 6 日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 29 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を実施することおよび期末配当予想を修正することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 5 月 11 日公表)	前期実績 (平成 28 年 3 月期)
基準日	平成 29 年 9 月 30 日	同左	平成 28 年 9 月 30 日
1 株当たり 配当金	9 円	8 円	8 円
配当金総額	865 百万円	—	775 百万円
効力発生日	平成 29 年 12 月 4 日	—	平成 28 年 12 月 5 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1 株当たり配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 29 年 5 月 11 日公表)	8 円	8 円	16 円
今回修正予想		9 円	18 円
当期実績	9 円		
前期実績	8 円	10 円	18 円

3. 理由

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営の重要な課題として位置づけており、金融機関として必要な自己資本や内部留保の充実を勘案したうえ、業績を加味しながら配当を行うことを基本方針としております。また、業績を反映させる基準として連結配当性向 60%程度を下回らないものとし、連結株主資本配当率(配当額の株主資本に対する割合)も勘案することとしております。

この方針のもと、本日公表しました第2四半期の業績および通期の業績試算値に鑑み、平成30年3月期の中間配当を直近の予想から1株当たり1円増配の9円、期末配当予想を1株当たり1円増配の9円といたします。この結果、1株当たりの年間配当予想は1株あたり18円となります。

以 上